

09年4月7日市警ニュース

JSSによる情報提供

## 安全警報;不審事発生

4月4日午後5時21分、警察にブローワー西通り・シェアボーン通り地域で起きた不審事に関する通報が寄せられた。

状況は;

- グリーンピース・カナダによる、原子力発電所から漏れた放射能被爆の危険に関する情報が書かれた紙とともにヨード錠剤一錠が、住宅の入り口に貼り付けられた。

この錠剤は警察によって押収され、分析待機中である。

皆さん、いかなる薬品であっても、家に要求なしに届けられた場合、十二分に注意されたい。本件に関する情報を持っている人は、警察(電話 416-808-5300)、または匿名でクライムストッパーズ(電話 416-222-TIPS (8477)またはオンライン [www.222tips.com](http://www.222tips.com)、ないしはテキストTORのCRIMES (274637))に連絡を取られたし。

## JSS 説明

翌日の CP24 によるとグリーンピース・カナダが、ピッカリングの原子力発電所の閉鎖を求める活動に、発電所から半径 30km 以内にすんでいる住民の注意を引くために、錠剤を添付した張り紙を配ったことを認めた。

また添付された錠剤は、海草から抽出されたヨード剤で、グリーンピースが危険であるとした放射線にはなんらの薬功もない。

当地に限らず世界中どこに住んだとしても、こういった情報に悩まされることは珍しくない。大切なのは情報が正規の情報源によって、正しく伝えられたかどうかである。住み慣れないところで暮らす場合、どのようにしてもたらされる情報が正しいのか、ないしは当地の場合、英語で書かれた内容がきちんと理解できるかどうかといった観点から、入手した情報を点検し、行動に移す必要がある。

不審事に添付された「錠剤」は単なるヨード剤であり、放射能はもとより、強い薬功成分を持っているものではないようだが、警察が注意しているように、要求しないのにもたらされた薬剤の使用が危険そのものである。